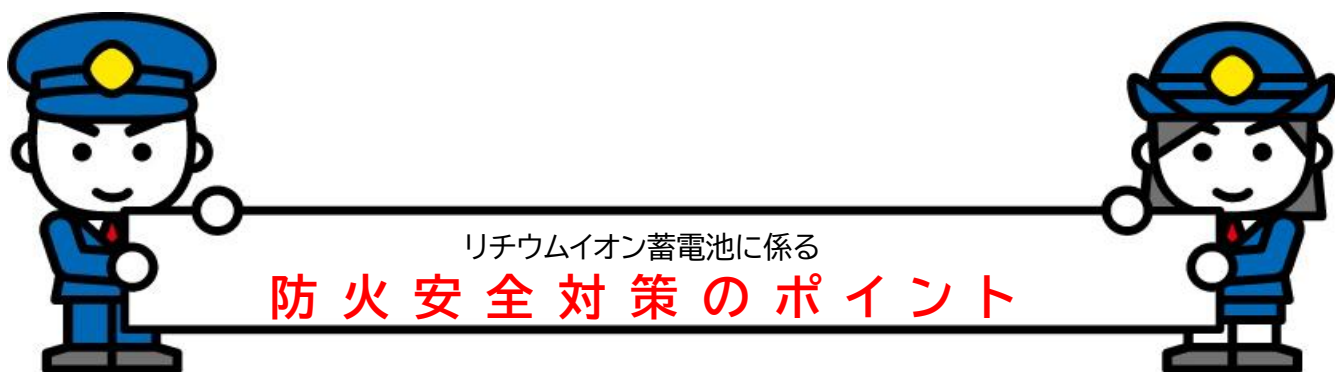


リチウムイオン蓄電池からの 出火が増加しております。

「リチウムイオン蓄電池の危険性」

リチウムイオン蓄電池は、大容量の電力を蓄えることが可能で、繰り返し充電して使用できる電池です。その便利さ故、スマートフォンやゲーム機器、電子タバコ、掃除機など、身の周りのあらゆる製品に内蔵されています。

しかし、リチウムイオン蓄電池には、**衝撃を加えると発火**するなどの危険性が潜んでおり、正しい方法で使用・廃棄しないと大きな事故につながる可能性があります。



リチウムイオン蓄電池による電気火災を防ぐための主な対策

- ・むやみに家電製品を分解・修理・改造しない。
- ・水のかかる場所では使用しない。
- ・機器に深いキズや変形等の異常がある場合は使用しない。
- ・耐用年数を超過した製品は使用しない。
- ・リコール情報を確認する。

廃棄物処理施設等(廃棄物処理施設・ごみ収集車)における充電式電池による火災を防ぐための主な対策

- ・地域の分別ルールに従って廃棄する。

リチウムイオン電池総合対策ポータルサイト(出展:総務省消防庁)

<https://www.fdma.go.jp/relocation/lithium-ion/>

